

# 市政ニュース

宇宙ステーション補給機「こうのとり」2号機打ち上げ  
成功をお祝い＆JAXAの谷垣文章さん講演会開催



▲祝いで三唱した市長と三歳教育委員、万歳教育委員、万歳教育委員、玉を割りす玉を割りす石高幼稚園、くすくす学校

1月22日、国際宇宙ステーションへ物資を運ぶ無人補給機「こうのとり」2号機（HTV2）を載せたロケットH2B2号機が、午後2時37分57秒、鹿児島県の種子島宇宙センターから打ち上げられました。約15分後、HTV2を分離し、軌道に乗りました。

市は宇宙航空研究開発機構（JAXA）から招待を受け、真野副市長らが現地を訪問。「こうのとり」2号機の打ち上げの成功を見守りました。市内では、コウノトリ文化館で打ち上げ映像のライブ中継を行い、集まった市民ら約

200人が打ち上げの成功を喜びました。会場では、三江小学校児童会役員4人と市のマスコット「コウノトリのコーちゃん」がくす玉を割り、万歳を三唱し、祝いました。なお、ライブ中継は、豊岡小学校、八条小学校、城崎小学校でも行われ、児童らが熱心に応援しました。

また、27・28日には、本市出身のJAXA職員、谷垣文章さんを招き、城崎・豊岡・八条・新田小学校で宇宙や宇宙開発をテーマにした講演会を開催しました。



▲講演に交えた谷垣さんの実演に興味津々（八条小）

## 5人の選手が「青森県はちのへ国体」アイスホッケー競技会に出場

「第66回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会」の少年の部に、県代表として出場する本市在住の選手が、1月21日、中貝市長を訪れ、激励を受けました。

訪問したのは、県立円山川公苑（小島）を拠点に活動するアイスホッケークラブ「但馬ホワイトベアーズ」所属の高校1年生、梶高 光さん、岡



▲（左から）梶高・岡田・大嶋選手、中貝市長、榎本・新田選手

田優介さん、大嶋修平さん、新田峻さん、榎本舜さんです。兵庫県チームは、3年連続5回目の国体出場です。

## JR豊岡新駅舎開業および「特急「こうのとり」」誕生記念式典開催

豊岡駅前広場整備に伴い、西日本旅客鉄道株式会社が建設を進めていた豊岡駅の新駅舎が竣工しました。

市では、新駅舎の営業開始となる2月13日に、駅舎の完成を祝うとともに、特急「こうのとり」が3月12日に誕生し、その一部が新型車両287系で運行されることを祝い、記念式典を開催しました。

式典では、市のマスコット「玄武岩の玄さん」が一日駅長に委嘱され、中学生ボランティア

イア大作戦の成果の車いす寄贈も行いました。また、新型特急車両が試運転され、一足早くお披露目しました。



▲新豊岡駅舎の前でテープカット

### 主な市政の動き

- 〔1月〕
- 18日 慶州市東川初等学校国際交流体験学習使節団来訪（～20日）
  - 20日 市役所窓口総合案内試行開始（～3月末）
  - 22日 「こうのとり」2号機打ち上げライブ中継、種子島現地でも応援
  - 27日 JAXA職員・谷垣文章氏講演会（城崎・豊岡小学校、28日：八条・新田小学校）
  - 城崎子育てセンター竣工式
  - 市豪雪災害警戒本部設置（本庁・日高・但東、28日：竹野、30日：城崎）
  - 30日 竹野地区公民館竣工式
  - 市豪雪災害対策本部に強化（本庁・竹野・日高・但東、31日：城崎）
- 〔2月〕
- 4日 市豪雪災害警戒本部に移行（竹野・城崎、7日：本庁・日高・但東）
  - 13日 JR豊岡新駅舎開業および特急「こうのとり」誕生記念式典

地域住民が憩い、交流し、活動する拠点施設完成、

城崎子育てセンター&竹野地区公民館竣工



▲城崎子育てセンター竣工記念式典のテープカット

城崎総合支所内に整備を進めていた城崎子育てセンターが完成し、1月27日、竣工式

を開催しました。新センターは、木を使用したぬくもりを感じる施設で、カーペット敷きのプレイルームや子育てホールなどが設置されています。また、30日には、竹野地区公民館の竣工式を開催し、歌、琴の演奏、舞踊のアトラクションも行われました。公民館は県の県民交流広場事業によ

り竹野総合支所の2階を改築整備したもので、多くの利用が期待できます。



▲竹野地区公民館竣工を親子でお祝い

地域で支える学校地域で育てる子ども

まちぐるみ学校支援シンポジウムを開催

1月29日、豊岡市民プラザで「まちぐるみ学校支援シンポジウム」を開催しました。

これは、市内の小中学校が地域の方から受けているさまざまな学校支援の輪が、今後さらに広がることを願って行ったものです。

- 文化財「そうだる節」のおどりや演奏
- 中筋小学校：図書ボランティアの「昼休みの紙芝居」など
- 五荘小学校：地域の方を講師とする「ふれあい体験活動」

イア 中西優子さん  
○市生涯学習課長 吉谷義奉  
■写真パネル展(1月29日、2月6日)

地域から支援を受けて行う各学校の活動風景写真

当日は、西気・中筋・五荘小学校児童が、地域から支援を受けて実施した活動事例を発表しました。

- その他の報告
- 地域コーディネーター 川島正博さん
- 三方小学校 学校コーディネーター 吉田順一さん
- 五荘小学校長 沖野龍之さん
- 三江小学校 図書ボランティア



▲「そうだる節」のおどり、歌、演奏を披露する西気小学校の児童

中貝市長の徒然日記 ④

「こうのとり」、宇宙へ

先月、補給機「こうのとり」が見事国際宇宙ステーションにドッキングしました。宇宙航空研究開発機構(JAXA)の皆さんが息も詰まるような緊張の中で成し遂げました。

JAXAには城崎出身の方が勤めていて、会ってきました。JAXAが打ち上げた人工衛星に、豊岡産のばねが使われていることも分かりました。

打ち上げの瞬間、私はツシマヤマネコの野生復帰シンポジウムに出席するため、対馬に向かう飛行機の中にいました。到着後携帯の電源を入れた。「打ち上げ成功！」のメールが飛び込んできました。ヤマネコの如く小躍りしました。

留守中、自宅に豊岡出身の女性が来られました。「夫が関連企業で宇宙開発に関わっています。うれしくて、ついおじゃましました」つながるものです。宇宙食のたこ焼きとプリンを置いていかれました。

「「こうのとり」の愛称は、公募で決まりました。が、私たちは公募自体を知りませんでした。JAXAから市のコウのトトリ共生課に写真提供の依頼があり、事情を聞いた担当者から驚きのニュースが夕暮れの市長室に届けられました。

宇宙関連企業に勤めている日高出身の方に「ひよつとして関係ありますか?」とメールを入れる、「どんぴしゃ。作っている」と答えが返ってきました。「JAXAの理事長に

